



# 実際の旅館を舞台に行われた2つの作品に注目。

REVIEW

## 想像力への尋常ならざる触手

スパンドレル/レンジ 番外公演「花会」  
2007年4月7日～8日 旅館 西郊

子供のころ、桜の季節が過ぎると心底ホッとした。ぼくの生家は幸か不幸か公園に隣接し、いつも花見客のどんちゃん騒ぎに巻き込まれたのだ。深夜まで喧嘩騒ぎが続き、一升瓶で殴られた血だらけの酔客がよく救急車で運ばれた。残された反吐やゴミの山を翌朝かたずけるのがぼくらの仕事になる。桜の季節はうんざりする厄災、憂鬱の季節だった。

スパンドレル/レンジの番外公演「花会」(4月7日～8日)の予告を見つけたときはだから、「花会」などと称して桜と花見をこぎれいなシンボルに仕立てるのかと気が進まなかった。ところがどっこい、公演に足を運んで正解だった。この集団らしい、屈折した桜のイメージをちゃんと用意してくれたのだ。

会場は杉並の老舗旅館の和室。畳に座布団を敷いて座り、縁側を即席舞台にした1時間ほどの小品だった。ふすまを外し紅白の幕で仕切った隣部屋に、コントラバスとアコーディオンのデュオが控え、生演奏で舞台の進行と追いつ追われつ、不気

味な憂鬱とねじれた美醜の妖しい空気を奏でるのである。

縁側のガラス戸越しに見える中庭は思ったより冴えなかったが、「桜の精」を自称する篠原里枝子のキャラクターが飛び抜けて映え、旅館の主人(田谷淳)や女将(北島佐和子)の実力派をすっかり食ってしまうほどだった。すっとぼけた表情が一瞬で変化し、上目遣いで人を射抜くような視線をちらりと浴びせる。身に着けた赤い和服もかわいらしいと言うよりは、どこか血にまみれた桜のイメージを掻き立てる。

そういえばこの芝居は、芝居自体に自己言及する内閣空間を紡ぎながら、桜の下に女将を埋めたなどと、坂口安吾や梶井基次郎の小説から借りてきたイメージをちりばめていた。しかしそれはあくまで物語の仮象。終幕を迎えるあたりで女たちが毛虫の化身だと言い立てる姿こそが、スパンドレル/レンジの指し示す桜のイメージなのではないだろうか。

花見が終わるとわが家の周辺は毛虫の大群に襲われた。その毛虫が、きらびやかな蝶になって飛び立つのか巨大な蛾に生まれ変わるのかは知らないけれど、花が散ったあとに着目するところこそ、想像力への尋常ならざる触手が感じられるのであ

る。(北嶋孝/マガジン・ワンダーランド編集長)



↑スパンドレル/レンジ…撮影/塩坪三三(3点とも)

→徒花\*…撮影/由利優樹(2点とも)



## 東京の持つ「違和感」とは?

『嘘を数える』徒花\*  
2007年2月17日～18日、24日～25日  
旅館 西郊

徒花\* (「とこだん」と読む)の公演『嘘を数える』は荻窪駅から近い旅館を舞台にした作品だ。小雨の降る中会場に着くと、そこは実に典型的な純日本風の旅館。廊下から日本庭園を臨む客室に案内され、座布団に座って前方の舞台を見ると、ふすまで仕切られた向こうの空間からはテレビの音ももれていた。

ストーリーはまさに福島から東京の旅館に泊まりに来た一組の兄妹の話である。福引きで当たった東京ディズニーランド招待券を持って東京にやってきた、うだつの上ならない兄と結婚を間近に控えた妹の会話から浮かび上がるのは、「東京」という場所が持っている違和感のようなものだ。

さて、横浜出身の筆者の印象からすると、「旅館」

が東京にある…というのは非常に奇妙なものである。旅行とは東京以外の場所へ行くことだと思っているからだ。地方からやって来た2人の感じている違和感と、東京の旅館という場所が喚起する私の違和感が重なり、非常に面白く感じた。

最近になって「ディズニーランド」という場所をモチーフにして「東京」を語る芝居を観ることが多い。『千葉にあるのに東京ディズニーランド』という明らかな矛盾や、着ぐるみの中に人が入っているのを誰も公言してはいけないという虚構性などが、芝居のもつイメージと似ているからだろう。この芝居でもディズニーランドの影が出て来たので、興味深い傾向だと思った。

2人がそれぞれの日常に感じている倦怠感ものを、東京という街が変えてくれる訳ではなく、むしろ場所を変えてもそのもやもやが続いていくという状態が、終始乾いたタッチで描かれていた。そのことを語る上で、「東京にある旅館」という場所はとてとても有効なものに思われた。(小笠原幸介)

## INTOWN カーテンコール

●4月某日、阿佐ヶ谷アルス・ノーヴァにて上杉満代舞踏秘儀、マダムメランコリア其の五『愛の巨人』を観る。黒い暗幕で全体を覆われた狭い空間にクラシカルな音楽が流れ、独特な雰囲気を作り出している。2人の踊り手が現れ、乾いた音のする鳴り式のような舞う。そして上杉の登場。その踊りについては、何か斬新な視点がある訳では

ない。しかしその存在感、登場するだけで醸し出される空気というのは独特である。客を圧倒するような力強い存在感ではなく、強いのだが妖しさと、どこか優しさを兼ね備えている。そして印象的だったのは作品の最後に行われるカーテンコールだ。上杉がバレエ風のステップでステージの中央に躍り出て、会釈をする。それまでの緊張した空気が一転し、客席と舞台の間にあった壁が取り払われた…というような、何とも晴れやかな瞬間が訪れたのだ。それまでの舞台上でのものではない、自ら自身に戻ったような上杉の表情と、その姿を待ちわびたかのような観客の拍手。こんな清々しいカーテンコールを観たことが無い。踊りの魅力というものが、結局は踊り手のパーソナリティに多くの部分を負っているのだ、ということ強く思わされたシーンだった。(小笠原幸介)

●先月号にて麻布die pratzの閉館についての記事を掲載したが、阿佐ヶ谷の小劇場アルス・ノーヴァも5月をもって閉館するという。およそ劇場に見えないような外観に、年季の入った内装のその存在感は、演劇の街阿佐ヶ谷ならではのとも言

えるものだっただけに、それが無くなるのは実に寂しい思いがする。

●今号では劇場以外の場所で行われた演劇公演を三本取り上げた。なかでもPO-TALIVEの作品は街の中で行われる演劇だが、街の中に非日常的なものを持ち込むのではなく、日常を再発見するための視点を得るために演劇を用いているのが興味深い。劇場以外の場所で公演すること自体は新しい試みではない。その場所で公演することの必然性、あるいは問題意識がなければ、劇場での公演とまるで変わりがないのである。

上杉満代『愛の巨人』より  
撮影/神山禎次郎(2点とも)



# 物語の世界がひろがる、楽しい絵本の会

芸術文化を支援、発信するNPO  
アートネットワーク・ジャパンより  
MONTHLY LETTER Vol.39

ワークショップやシンポジウム等の活動を通して、子どもたちとアーティストが出会う場づくりをするNPO『芸術家と子どもたち』。その活動の一つとして、にしがも創造舎に作られたプレイスペース『ギロンと探偵のいる2年1組』では、絵本を使った楽しいワークショップが行われている。ただ絵本を読むだけでなく、参加して楽しめるワークショップに、親子で参加してみたいかをご紹介します。

## ●読んで遊んで えほんの会

舞台女優のさやかおねえさんが、多彩なメンバーを交えて行うえほんの会。

読むのはもちろん、楽器やおもちゃ、体遊びを楽しく取り入れて絵本の世界を広げます！

どんな絵本に出会えるかな？ 家族みんなでのんびり気ままにご参加ください！ リクエストもどうぞ！

【日時】…6月9日(土)

1回目 11:00~12:00

2回目 14:00~15:00

【対象】…対象年齢は限定しませんが、1回目は年少くらいまで、2回目はそれ以上の子ども向けの内容となります。

【場所】…にしがも創造舎2階「ギロンと探偵のいる2年1組」

【申込】…不要 10分前くらいにお越しください。

【参加費】…無料

4月に実施した同イベントの様子は以下URLでご覧いただけます。

<http://children-art.net/staffblog/002action/001space/4.php>

■さやかおねえさん プロフィール  
赤羽 さや香 (アカハネ サヤカ)

平成12年、加藤直プロデュース『三文オペラ』に、少年エド役で出演。以来、神奈川芸術財団ワークショップ集団「ASK」に参加。演出家・加藤直氏、振付家・伊藤多恵氏(かもねぎシヨット)、役者/歌手・大石哲史氏(オペラシアターこんにゃく座)などの講師と共に、3年間、音楽やダンスと融合した演劇を学びつつ、沖縄や横浜の定期公演に出演してきた。以降、今井尋也氏主宰のパフォーマンス集団「メカゴシアター」にて東京のギャラリーなどでの公演に参加。そのほか、民族音楽や古典音楽が好きで、沖縄の三線、アフリカのジャンベなどを練習中。最近ではホームイ(のど歌)にはまっている。

## ■お問い合わせ

NPO法人芸術家と子どもたち

E-mail…[action@children-art.net](mailto:action@children-art.net)

TEL…03-5961-5737

FAX…03-5961-5738

# 結成23年、全員攻撃参加の「毘」ワールド。生の芝居の魅力を劇場で体感せよ!

## 新しい演劇を発信する神楽坂と麻布の小劇場 DIE PRATZE より最新ニュース

劇団W.I.T. 2007夏公演『ようこそ、わなへ』  
6月26日(火) 27日(水) 19:30開演 @神楽坂 die pratze  
問=090-8117-6661 ういと東京本部

### ★劇団W.I.T. インタビュー

Q—ういっとのボス・しなやかしなちゃん氏に球場でインタビューしてみました。

A—ほら、今投げる投手、投げる時に左腕がペロロンってなるだろ。だから「ペロロン」って呼ばれる。新人なのに度胸もコントロールもよくて、面白いピッチャーだよ。

Q—今年で結成23年になるういっとの芝居とは?

A—23年前と言えば、日本でも路上でキスするカップルが目立ってきた頃。その中の1組が私たち。そういう自覚を持って、ずっとやってきた。足の裏の臭いがするような芝居は作りたくなかった。一方で同世代の作る、カルチャーセンターみたいな作品にも違和感ありまくり。私たちの芝居は、運動だと思ってる。「キスすれば世界が変わると信じてた」昔から、これは変わらない。歳はだいぶ食ったけど、「車道でベルを鳴らした続ける自転車」でありたいね。

Q—今のこの国の状況にどんな危機感を持っている??

A—管理されることへの警戒・拒絶がなくなり過ぎか。わが家の周りに何十階建てのマンションがいっぱい建って、綺麗で広くて値段もそこそこだけど、人間の工場みたいで。当然みんなオートロック。わざわざ高いローン組んで檻に入る。なんでかなあって。自動改札あたりから、段々慣らされてきたよね。管理社会とか管理教育とか、そういう言葉自体聞かれなくなった。マスコミや権力の言うことなんて、まずは信じないのが当たり前だ。そういうことも、学習してやっと1つずつわかる、そんなレベルなのかもしれない。

巨人戦の視聴率とかだけで、「プロ野球の人気は

落ちた」とか。むしろ球場で観るのが一般化して、面白くなってきているのに。「広島カープは不人気球団だ」とかもね。神宮のレフトスタンドを見てみ。真っ赤だろ。ヤクルト側より多い。ピジターなのに、東京なのにね。何でか知ってる? 面白いからさ。大勢に阿らず、金にも言わすでもなく、自前で工夫してチームを作ってる。それはファンの応援スタイルとも呼応してる。TVじゃわからない。球場で直接触れればわかる。

芝居だって同じだ。作られた人気とか以前に「いいところがあるんだからいい!」当たり前のことを、意識的に口にしていく必要が、すごくある状況だと思ってる。

Q—次回作『ようこそ、わなへ』にもその辺の思いが込められている?

A—「ようこそ、わなへ」、これ元々、劇団名の一部なんです。キーパーも前線に上がって全員攻撃! ぐ



らしいものはありますね。役者3人だけど平日のナイトゲームだね。die pratzeは屋内だから水に濡れる心配はないけど、何が起るかかわからない生の舞台ってやつをたっぷり味わってほしいな。

言っとくけどウチの芝居へおいよ。チョロいよ。毘とわかって、はまりに来てください!!

Q—どうもありがとうございました。

## JOIN IN THE PICNIC 期待の公演情報



◆神楽坂die pratze  
5/31(木)~6/3(日)  
エロティック・クライスト「ポジティブオナニー・ネガティブセックス」  
前売=¥2000 当日=2500  
問=オフィス☆クラクラ TEL=080-6589-2348 ©作・演出=ふじたばくや 出演=浜井美樹 栗山雅史 菅澤あい ハスイ雅/他 ©10年ぶりに再会した姉と弟。自分も他人も愛せず生きる彼等の先には「近親相姦」という禁断の関係性だった…。元風俗ライター・ふじたばくが見た歪んだ愛の物語。



◆麻布die pratze  
7/11(水)~7/16(月)  
演劇集団WHATCOLOR  
第9回公演「フィルムと夕風」  
問=m-o-s@msj.biglobe.ne.jp  
作・演出=石山英憲(Theatre劇団子) 出演=古泊明敏 山岸里江 ちよーすけ 他

←photo  
by KAZUhide SEKINE

## 訂正とお詫び

先月号のdie prazeページに写真の取り違えのミ

スがありました。ノイ企画と稽古場の会の本文と掲載写真が逆になっており、関係者の方々にご迷惑をおかけ致しました。ここに訂正と同時にお

詫びをさせていただきます。まことに申し訳ありませんでした。(CUT IN)

# 『父産(とうさん)』をテーマに繰り広げられる 都会派スラップスティックコメディ。



**劇団印象**  
 2007年6月8日(金)～11日(月)  
 ◎新宿タイニアルイス

2007年  
 6月8日(金) 7:30PM  
 6月9日(土) 2:00PM&7:30PM  
 6月10日(日) 2:00PM&6:00PM  
 6月11日(月) 3:00PM&7:30PM

※受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前となります。

【作・演出】…鈴木厚人  
 【出演】…加藤慎吾 園芸家すみれ(ポップンマッシュルームチキン野郎) 岡本祐介(ペピン結構設計) 片方良子 山田英美 斎藤真帆 竹原じむ(フルタ丸)

【舞台美術】…坂口祐  
 【舞台監督】…川田康二  
 【宣伝美術】…大野舞“denali”  
 【照明】…内山和美  
 【選曲・音響】…勝俣あや  
 【制作】…まつながかよ  
 【料金】…前売2000円 当日2400円(全席自由席)  
 【お問合せ】  
 Tel:090-1613-6026(制作)/Fax:020-4623-0365  
 E-mail:info@inzou.com  
 HP:http://www.inzou.com/

■劇団印象-indian elephant-  
 劇団印象、「印象」と書いて「いんぞう」と読みます。  
 劇団印象-indian elephantは、2003年1月、鈴木厚人を中心に結成。横浜を拠点に活動を開始。以来一貫して、主宰である鈴木厚人の戯曲作品を上演。2006年から活動拠点を新宿に移し、公演毎に実力のある役者を集めるセミプロデュース公演スタイルに移行。第1回公演から、なぜかタイトルは漢字で2文字。「鴉姫(からすみめ)」「嘘月(うそつき)」「穴鍵(あなかぎ)」「幸福(こうふく)」「空白(そらしろ)」「望遠(ぼうえん)」「友霊(ゆうれい)」「愛撃(あいうち)」そして、次回第8回公演は『父産(とうさん)』となりました。  
 ウィットやユーモアに富んだ台詞回しと、アイロニーに満ちたストーリー展開、歌舞伎を思わせるケレンな舞台造形を駆使しながら、観劇後、劇場を出た観客の生活や目に映る景色の印象を変える、そんなエンター

テインメントを発信しています。

■第8回公演『父産(とうさん)』  
 母産(カアサン)でもなく、嫁産(ヨメサン)でもなく、父産(トウサン)をテーマに、消費社会を風刺し、観客を笑殺します!  
 お見逃しにくい全7回公演やりますです!  
 また、昼ギャザシステムを今回初めて導入しました!  
 6/11(月)=3:00PMの回は昼ギャザ公演を行います。  
 お誘い合わせの上、ぜひお越し下さい!



撮影/平澤賢治2点とも

## TINY ALICE / NPO ARC

新宿区新宿2-13-6 光亜ビルB1 tel&fax 03-3354-7307  
 http://www.tinyalice.net tokyo@tinyalice.ne.jp

5月23日(水)～5月28日(月)■机上風景  
 『幻戯』 問=tel:03-5946-4880  
 ☆作・演出=高木登 ☆出演=平山寛人 加藤重果 石黒陽子 浜恵美 浜野隆之 村上由起 美徳丸 古川大輔 ◎本作の舞台は時代から取り残されたような遊郭です。ここを訪れた三十を過ぎていまだ女性を知らぬ小説家、手だれの娼婦、口のきけぬ謎めいた娼婦、この三人のミステリアスな関係を中心に、どこか屈折し、歪んでしまった現代の「性」の在り様を、幻想的なタッチで描きます。  
 5月31日(木)～6月3日(日)■あ!?プロジェクト  
 『約束?これが私の生き理由?』 ☆作・演出=コバヤシタダン  
 ☆出演=小野修史 木多純子 中島智一 海菜 湊裕子 篠原良美 小林理  
 ◎あ!?プロジェクトの「あ」とは日本語の「あ」、アルファベットの「A」のことです。物語の始まりを意味します。何事もスタートしなければ前へ進むことが出来ないので。今回第五回公演となるこの作品も、昔交わした約束を守るために、一歩前へ踏み出す勇気のお話です。この作品を通して皆様も一歩前へ進む、生きる勇気を持ってください。

6月4日(月)～5日(火)■桜会  
 『何もない空間(百連発II)』問=03-3401-4403  
 ☆演出=阿部良 ☆出演=阿部良 女鹿伸樹 上村拓馬 松村元太 他 ◎「何もない空間」に俳優、ミュージシャン、お笑い芸人達が次々に登場。精一杯のパフォーマンス。たとえば阿部は一人芝居、「一休反米」を披露。  
 6月8日(金)～11日(月)■劇団印象-indian elephant-  
 『父産』問=tel:090-1613-6026 Fax:020-4623-0365 E-mail:info@inzou.com

☆作・演出=鈴木厚人 ☆出演=加藤慎吾 園芸家すみれ 岡本佑介 片方良子 山田英美 斎藤真帆 竹原じむ ◎劇団印象-indian elephantは、2003年1月、鈴木厚人を中心に結成。横浜を拠点に活動を開始。以来一貫して、主宰である鈴木厚人の戯曲作品を上演。2006年から活動拠点を新宿に移し、公演毎に実力のある役者を集めるセミプロデュース公演スタイルに移行。ウィットやユーモアに富んだセリフ回しと、アイロニーに満ちたストーリー展開、歌舞伎を思わせるケレンな舞台造形を駆使しながら、観劇後、劇場を出た観客の生活や目に映る景色の印象を変える、そんなエンターテインメントを発信しています。第8回公演となる『父産(とうさん)』は「東京の片隅に、息子と二人で暮らす父親がいた。息子は、今日にも結婚して家を出る。そうならば、明日から一人ぼっち。孤独に怯えた父親が奇想天外な事件を巻き起こす、都会派スラップスティックコメディです。  
 6月18日(月)■TAICHI-KIKAKU  
 『金色の魚 輪廻』 問=tel:03-5385-9137 E-mail:taichi-k@mub.biglobe.ne.jp

☆テーマ・演出=モリムラ ルミコ ☆出演=オオハシヨースケ ヨシダ朝 モリムラルミコ ◎日本のパフォーマンスグループ TAICHI-KIKAKYが生み出した世界(06年までに21カ国で公演)で通用する「言葉を越えた演劇」-身体詩-。タイニアルイスの協力で一年を通じて創り上げていきます。  
 6月20日(水)～6月24日(日)■核弾頭ベイビーズ  
 『HOTEL竜宮城』 問=tel:080-5542-3868  
 E-mail:kakubebi0824@ezweb.ne.jp  
 ☆作=青草井少年 ☆演出=青草井少年 ☆出演=霧夕須 ケンジ 兎原武彦 KING 塚乃間鉄人 馬屋長男 白ヶ鳥冬萌 種田菜沙 青木祐美子 飛魚翔太 青草井少年 ◎今回で第7回となります。今回のお話は、核ベビ初参加の役者を加えての公演。あなたはどの公演、最後まで直視できますか? どんなものが出てもかならず見て下さい、ってか見なさい。さみしいから。

## 神楽坂 die pratzte

〒162-0812 新宿区西五軒町2-12 T&F 03-3235-7990

5月25日(金)～27日(日)■Gucci&Bocci番外企画  
 『蜘蛛女のキス』 問=PICOTAKE事務局 TEL=090-4673-3893(蟹江) ☆作・制作=マヌエル・ブイグ ☆監修=高橋征男  
 ☆出演=木村準 大竹浩史 他  
 ◎刑務所に閉じ込められた二人の男、ブルジョワ育ちの革命家と母親思いのホモ男。孤独で退屈な時間の中、二人の男は…二人に流れた不思議な魅力的な時間。  
 5月31日(木)～6月3日(日)■エロティック・クライスト  
 『ポジティブオナニー・ネガティブセックス』 問=オフィスクラクラ TEL=080-6589-2348 ☆作・演出=ふじたばくや  
 ☆出演=浜井美樹 栗山雅史 芦澤あい ハスイ雅/他  
 6月8日(金)～10日(日)■虚飾集団廻天百眼  
 『夢屋』 問=http://papillon.daa.jp/ hyakumail@gmail.com 090-2157-8811 ☆作・演出=石井飛鳥 ☆出演=大島朋恵 御手洗花女(母檸檬) 紅日穂子 白亜 礼音 他 ◎赤穂神・淫夢・檸檬のエレキのうねりに血舞舞台が舞上がる! 廻天百眼四発目日本公演!  
 6月22日(金)～24日(日)■カイン丸  
 『一妻多夫～お父さん達の七日間戦争～』 問い合わせ=03-3986-0166 090-4430-8170(タチザワ)http://www.k4.dion.ne.jp/cainmaru ☆作・演出=立澤和博 ☆出演=日野賢治 土井貴文 佐々木麗明 岡島亜佐美 榊夏夏江(Gooday.co.)他…  
 ◎今、家族を問う! お父さん達が家族を変える!! そう、お父人いたっていいじゃないか!!! 新生カイン丸が描く家庭内エンターテインメント!

## 麻布 die pratzte

〒106-0044 港区東麻布1-26-6-2F T&F 03-5545-1385

5月25日(金)～27日(日)■ダンスカンパニー カレイドスコープ  
 『The World of Kaleidoscope vol.2 7人のコレオグラフィアーによる-Members Dance Show Case』 問=046-238-1902(ダンスカンパニー カレイドスコープ) ☆振付=二見一幸 田保知里中村真知子 大竹千春 佐々木紀子 高杉あかね 喜多真由子 ◎ダンスカンパニー カレイドスコープで活躍するダンサー6人をクローズアップし、代表の二見作品を交えて7つのコンテンポラリーダンス新作を上演する!  
 6月1日(金)～3日(日)■リリイ座☆『ジャングルの女』  
 問=090-6476-9039(リリイ座) ☆作・演出=笠原朋子 ☆出演=鈴木良子 別所美和 斎藤愛 松本恵理 笠原朋子 ◎昆虫王国で蝶と人間の間に生まれた主人公ムシコ。恋人の死・再会・家族・使命・ジグザルの危機! 馬鹿馬鹿しき全開で送るハイテンションミュージカル!!  
 6月8日(金)～10日(日)■自由彩図(フリーサイズ)  
 『LITTLE RENGERS』 問=03-3495-5291((株)エクシード・アルファ) ☆作・演出=伊与久直人 ☆出演=未定 ◎何がしたいんだレンジャー号! がんばれレンジャー号! 大丈夫か? レンジャー号隊員達! 我々はちっぽけだ…、とてつもなくちっぽけだった…。  
 6月14日(木)～18日(月)■THEATRE MOMENTS  
 『マクス～シアワセのレシビ～』 問=03-6760-9709(劇団)  
 ☆原作=シェイクスピア ☆構成・演出=佐川大輔 ☆出演=中原くれあ 矢原将宗 関谷美香子 小椋礼 鈴木貴子 西森寛他 ◎シェイクスピア「マクス」をMOMENTS版トータルシアターとしてリメイク。「情報と人間」という切り口で、「感じ、想像し、体験できるマクス」に!  
 6/23(土)～24(日)■オグオプ『針子の虎!!』  
 問=090-1911-0614(オフィス・オグオプ) ☆作・演出=内沢信介 ☆出演=中村香織 吳屋希美 畑ひろ江 山下櫻子 蒲生和也 千葉みどり 他 ◎時は江戸の世。所は大坂。田舎から出てきたばかりの少女ビスコは花魁道中の美しさに打たれ、あんな素敵な衣裳を作ったみたいと心を決まる。それから三年…。  
 6月26日(火)～27日(水)■演劇舎 猫の事務所  
 『歌入り英和ニヶ国語ひとり芝居「薬屋の秘密2」』  
 問=047-328-8175(演劇舎 猫の事務所) ☆作=室井三紀 訳=遠山顕 ☆演出=畑圭之助 ☆出演=遠山顕 ◎NHK英会話入門の人気講師、遠山顕がおくる一人芝居。ジャズバーを舞台に一人の男が過去を語る。同じ作品を英語でも上演。  
 6月29日(金)～7月1日(日)■Log.No.  
 『[Log.No.02]ワラえるハナシ(仮題=課題)』 問=03-5666-4190(Log.No.) ☆作・演出=笠井健夫 ☆出演=久樹賢 荒井めぐみ 岩下真梨 市川麻衣子 小久保寿人 ◎るぐなんばーの第二弾は笑える話です。設定もストーリーも今はあかせません。笑って楽しんでいただき、あわよくば感動の涙を流していただくお芝居です。